

なるほど!



わかった!

# 戸田市の財政



# はじめに

戸田市が行っている仕事、例えば小学校、中学校や保育園などの運営管理、市道の整備、公園の管理、ごみの回収、下水道の整備などにはお金がかかり、それらの仕事には市民の皆様からお預かりした税金をはじめとする貴重なお金を充てています。

まちづくりは、市民の皆様と一緒にあって、知恵を出し合い、工夫しながら進めていくことが必要です。そのためには、市民の皆様「財政」のことを知っていただき、情報を共有することが大切です。

この「なるほど!わかった!戸田市の財政」は税金を、どのように活用し、施策を進めていくのかを、わかりやすくまとめたものです。

戸田市総合振興計画(第4次)で掲げた将来像である「みんなでつくる水と緑を活かした幸せを実感できるまち」の実現に向けて、市民の皆様とともに考えていきたいと思えます。

また、戸田市はよく財政力が高いと言われますが、高いから安心していいのか、これから先の将来も不安がないのか、一緒に考えましょう。

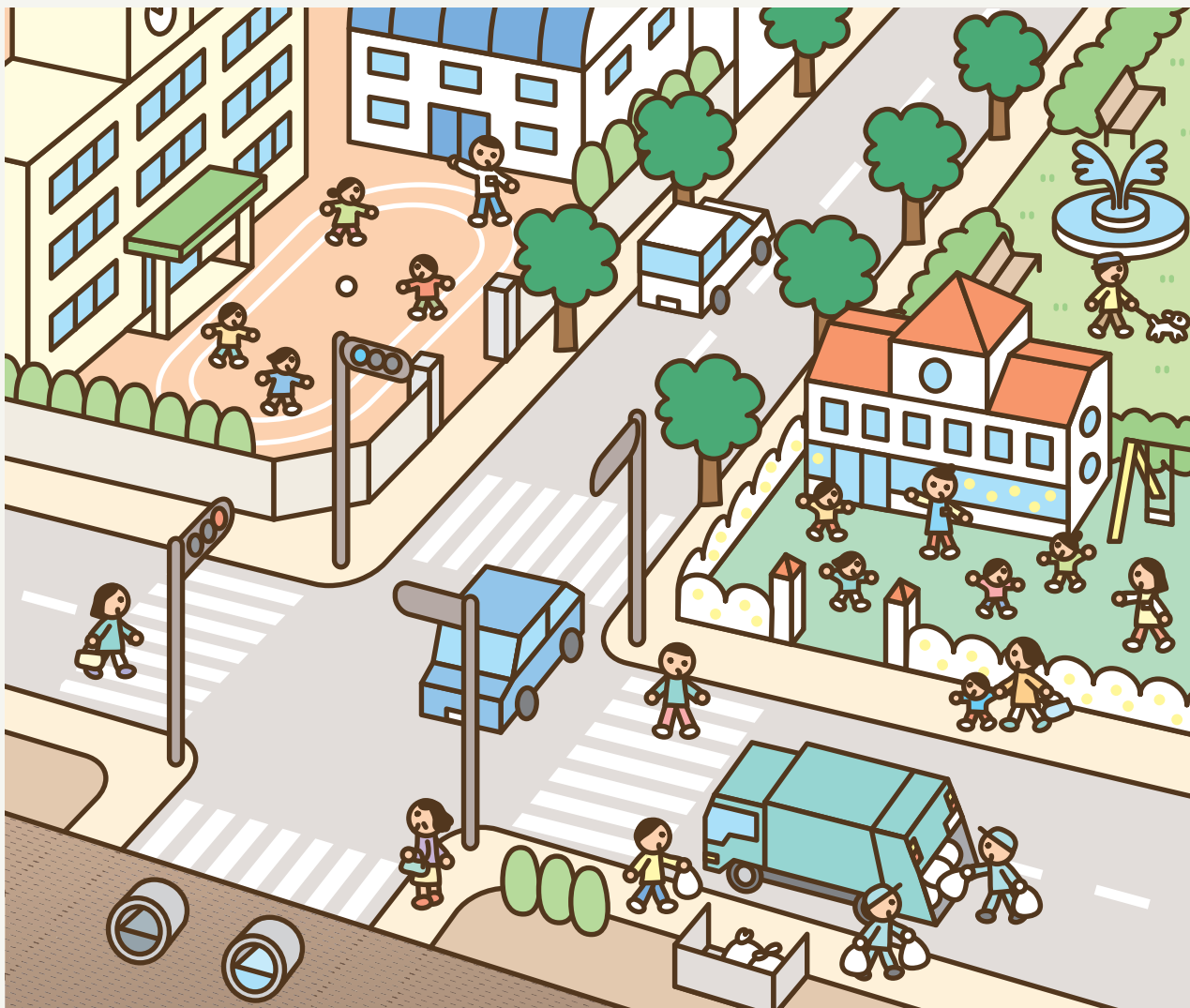
戸田市の  
財政案内人 「おさいふくん」



# もくじ

<b>第1章 「財政」ってなんだろう？</b> .....	2
① 予算・決算ってなに？ .....	3
② 予算をみてみよう ～平成25年度予算～ .....	3
③ 決算をみてみよう ～平成24年度決算～ .....	10
<b>第2章 財政運営に欠かせないもの</b> .....	18
① 戸田市の貯金はどうなっているの？ .....	18
② 戸田市の借金はどうなっているの？ .....	19
③ 地方交付税について .....	20
<b>Coffee break</b> いくらかかるのかな？ 戸田市の行政サービス .....	22
<b>第3章 戸田市のこれから</b> .....	24
① 現在行われている事業をみてみよう .....	24
② これから先もずっと安心かな？ .....	26
<b>おわりに</b> .....	29

# 第1章 「財政」ってなんだろう？



「財政」というと難しそうに聞こえますが、公園、道路、ごみの収集、下水道や市立の小学校、中学校や保育園などみんなの生活の身近なことを思い浮かべてみてください。

これらは戸田市が管理していて、それらの仕事にはお金が必要です。戸田市の仕事にかかるお金の使い道を決めたり、使えるお金がどれくらい集まるか予測したり、予定通りにお金を使ったか確認したりすること、これらを「財政」といいます。



それではこれから  
もう少し詳しく考  
えていきましょう。

## ① 予算・決算ってなに？

戸田市が行う仕事は1年ごとに「予算」で計画され、「決算」でどのように使ったかを確認します。全国のすべての地方自治体(都道府県や市区町村)が4月から翌年3月までを1年と区切っています。

予算を計画するときには、1年間にどれだけのお金が入ってくるかを予測して、それに応じて使い道を計画します。

1年分の予算は前の年度の3月頃に市議会で話し合って決めます。この市議会は市民の皆様も議場で見るができます。また、インターネットでも中継をしています。

4月から3月までの1年間に使ったお金を、次の年度の9月頃に市議会で確認します。予算が計画どおりにきちんと使われたか、市民にお知らせします。

### 予算

お金をどのように使うか1年ごとに計画したもので、将来のまちづくりのために計画的にやるべきことなどを考えて予算をつくります。

### 決算

その「予算」を法令に基づき効果的・効率的に使ったか確認します。

決算を分析し、市議会で出された意見などを活かして、次の予算をよりよい計画にします。これは成績結果がでて、それを今後の勉強に活かしていくのと似ていますね！



### Q 一度決められた予算は、変えられないの？

A 変えられます。それを補正予算といいます。

例えば、台風のような自然災害の影響で、当初計画した経費では足りなくなるなど、予定外の経費の増加がある場合には、それに対応しなければなりません。その場合は、変更する予算案(計画)をつくり、当初予算と同じように市議会へ提出します。通常6月、9月、12月、3月に行われる市議会で変更を決めます。

## ② 予算をみてみよう ～平成25年度予算～

戸田市の予算は、一般会計、特別会計、公営企業会計の3種類の会計があります。これらはお金の使い道などによって大きく3つの財布に分かれていて、お金の出し入れをします。お財布を分けることでお金の出入りをはっきりさせています。



戸田市には国民健康保険や土地区画整理事業などの14の特別会計があります。(平成25年度予算)  
公営企業会計は水道事業会計のみですが、平成26年度からは下水道事業も公営企業会計になります。

それぞれのお財布(会計)には、「収入」と「支出」があります。1年間の収入を「歳入」といい、1年間の支出を「歳出」といいます。



**収入  
(歳入)**

- 税金(市税)、借金(市債)
- 国や県などからのお金(補助金)
- 使用料・手数料 など



**支出  
(歳出)**

- 福祉や教育、医療などに使うお金
- 公園や道路の整備に使うお金
- 子育て支援や環境対策に使うお金
- 借金の返済に使うお金 など

それでは、一番大きい一般会計のお財布で平成25年度の予算(計画)を見てみましょう。



**収入(歳入)をみてみよう**

(平成25年度一般会計予算総額)  
**474億4,000万円**

**Q**

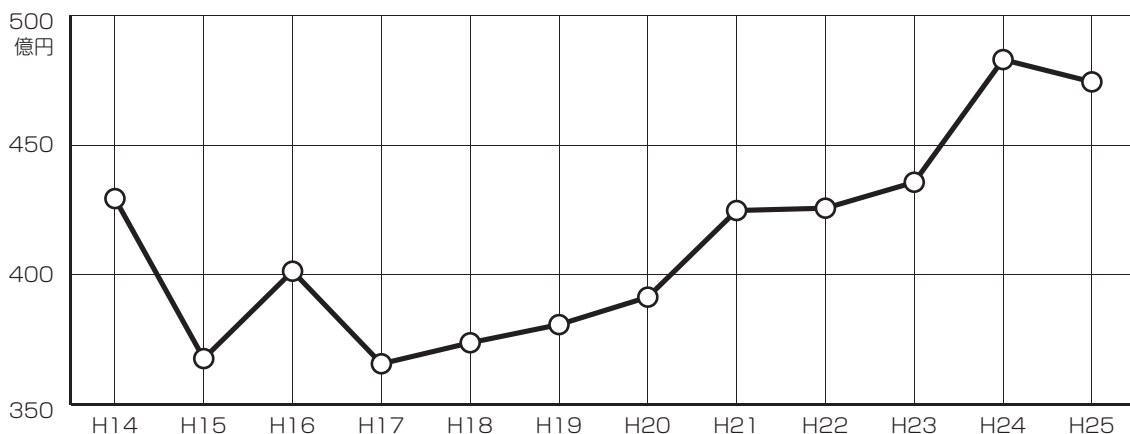
**使うお金はどうやって集めるの？**

**A**

使うお金の55.2%は税金(市税)でまかなわれています。  
税金とは市民の皆様が働いて会社などからもらった給料の一部を戸田市へ納めていただくお金のことです。  
他には国・県からもらうお金、銀行などから借りるお金や施設の使用料などがあります。

### ● 予算規模の推移

一般会計の予算額の推移をみてみましょう。



平成17年からちょっとずつ増えています。予算規模が増えるということは、市民のために使うお金が増えるということなのです。



集めるお金は、大きく  
自主財源と依存財源の  
2つに分かれます。



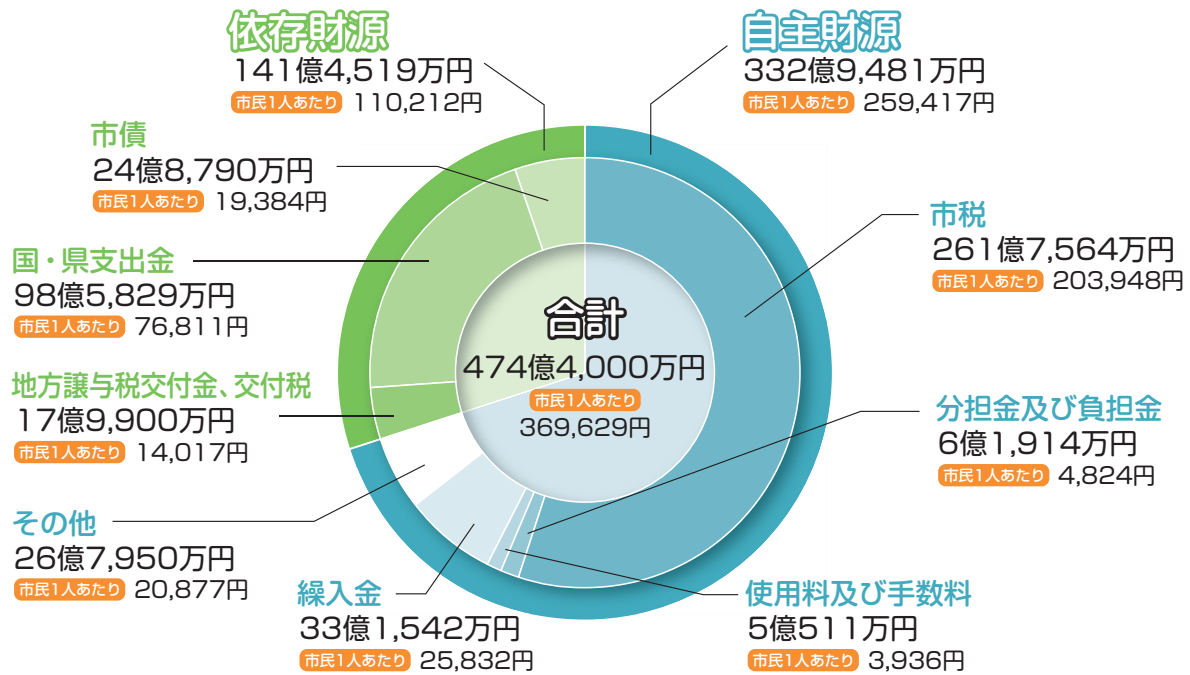
## 自主財源

市民の皆様になめていただく市税や手数料など、戸田市が自主的に財源として集めることができる収入です。

## 依存財源

国や県に依存しなければいけない収入のことで、道路や施設をつくる時に国からもらう補助金や借り入れる市債など、国が定めた額を交付されたり、割り当てられたりする収入です。

### ● 一般会計 平成25年度歳入予算



### 依存財源

#### 市債

銀行などからの借り入れ(借金)です。

#### 国・県支出金

国・県から市が特定の事業を実施するための負担・補助として交付されます。

#### 地方譲与税、交付金、交付税

市民の皆様が国や県に納めた税金の一部です。使い道は自由です。

### 自主財源

#### 繰入金

各種基金(貯金・運用金)を取り崩してお金を使います。

#### その他

寄附金、不動産の売り払いなどの財産収入、諸収入、前年度からの繰越金です。

#### 市税

市民の皆様から戸田市に納めていただいた税金です。

#### 分担金及び負担金

事業にかかる経費の一部を受益の程度に応じて利用者に負担していただいているお金です。

#### 使用料及び手数料

市の施設の利用や証明書を発行する際にいただいているお金です。

※市民1人あたりの金額は、平成25年度歳入予算額を平成25年4月1日現在の人口128,345人で割って算出しています。

## 市税について

市税は市が行う仕事を支えるとても重要な財源で、平成25年度では、歳入予算の55.2%を占めています。



**Q** 税金にはどんなものがあるの？

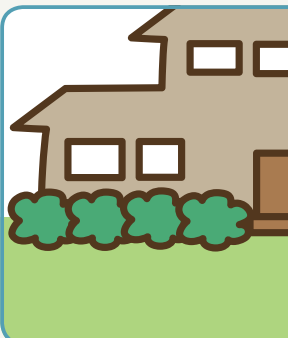
**A** 戸田市に直接納めていただく税(市税)は、7種類あります。



### 市民税

平成25年度予算  
108億5,316万円

市民の方が給与などの所得に応じて納める税や戸田市内の会社が収益などに応じて納める税です。



### 固定資産税

平成25年度予算  
125億211万円

土地や家屋などを所有している方が納める税です。



### 軽自動車税

平成25年度予算  
7,156万円

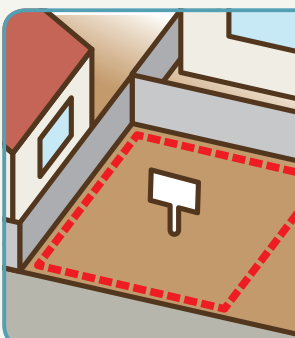
軽自動車などを持っている方が納める税です。



### 市たばこ税

平成25年度予算  
10億1,008万円

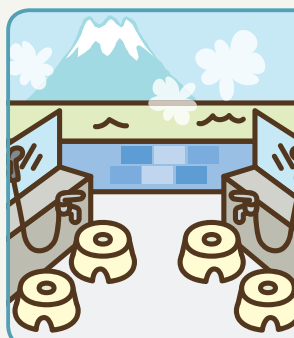
たばこを買った方が納める税です。



### 特別土地保有税

平成25年度予算  
2千円

土地の取得・所有に際して納める税金



### 入湯税

平成25年度予算  
2千円

浴場に入湯した方が納める税です。

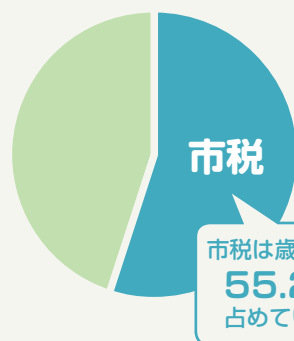
※戸田市ではありません



### 都市計画税

平成25年度予算  
17億3,873万円

市街化区域に土地や建物を持っている方が納める税です。



市税によって支えられているんですね

市税

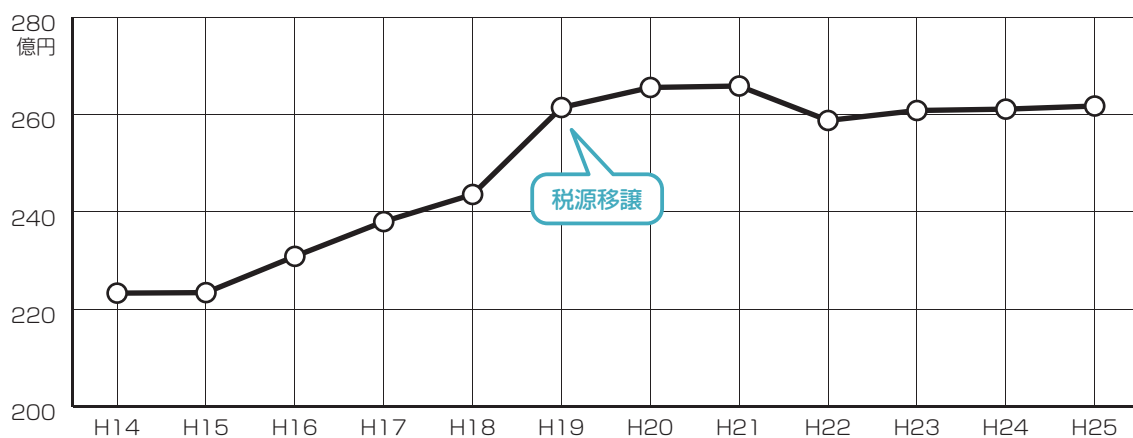
市税は歳入予算の  
55.2%を  
占めています。





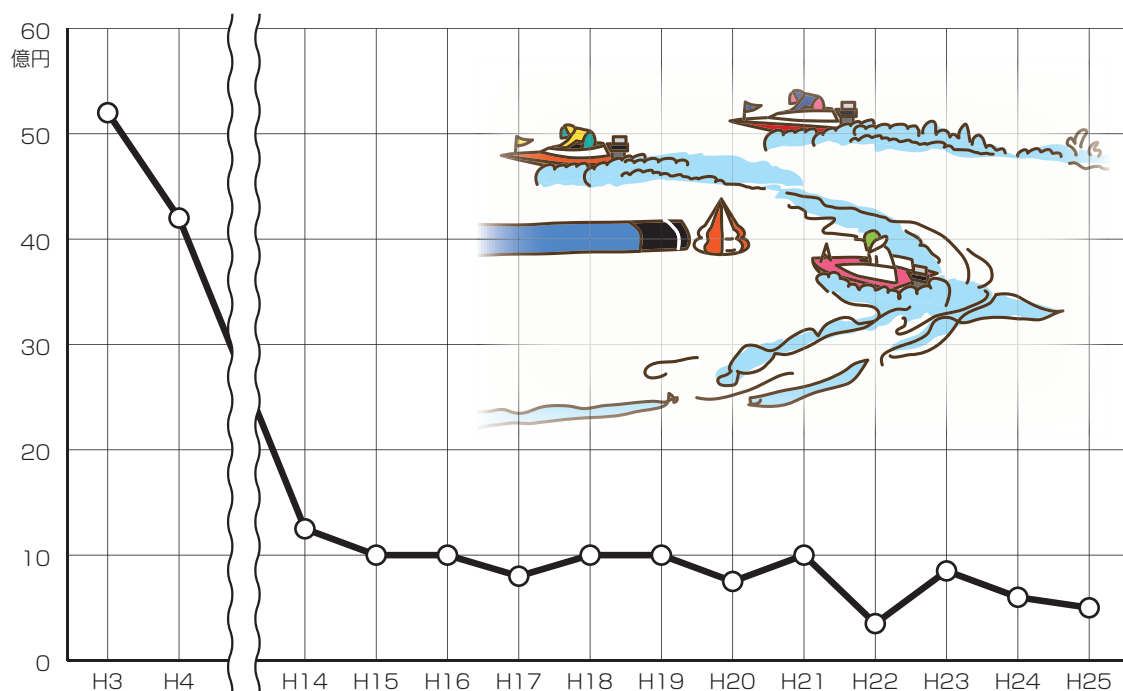
## 市税の推移について(H14~H25) 当初予算額より

市税は景気などの社会情勢に影響を受けます。平成18年から19年にかけて、税源移譲が行われたことにより大きく増加していますが、その後は横ばいとなっています。



## 競艇配分金の推移

戸田市は競艇の収入があるから大丈夫とよく言われますが、近年、競艇配分金は少なくなってきました。競艇配分金は諸収入に該当します。



平成3年では52億円もあったのに、平成25年度は5億円に下がっています。競艇配分金は減少傾向にあり、今後もあまり期待できないため、市税の徴収率向上を含め、財源確保の取組みが重要になってきます。

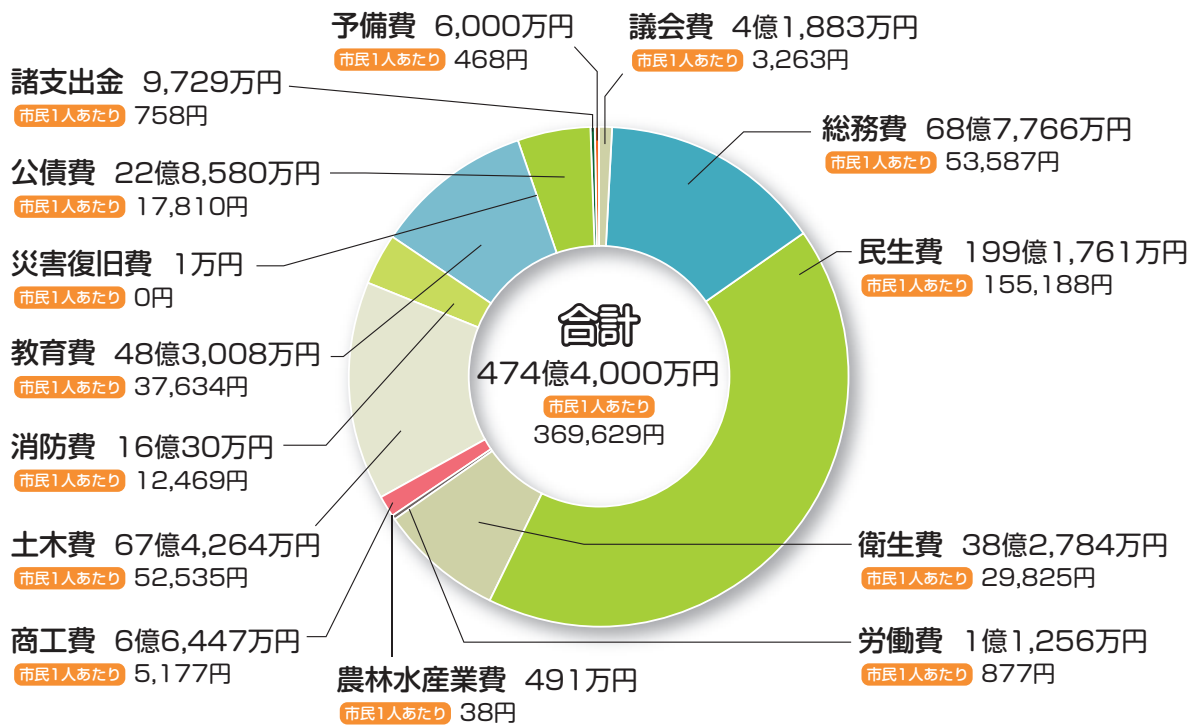




## 支出(歳出)をみてみよう

集めたお金は福祉や教育、まちづくりや安全など、目的に分けて使われています。

### ● 一般会計 平成25年度歳出予算



#### 災害復旧費

大雨、暴風、地震などで被災した施設の復旧にかかる経費です。

#### 農林水産業費

農林漁業の振興、技術の普及などにかかる経費です。

#### 議会費

議員の報酬や議会議事局の人員費、議会運営などにかかる経費です。

#### 公債費

事業を行うために国や金融機関から借り入れた市債(借金)の返済金です。

#### 商工費

商工業の振興、技術の普及などにかかる経費です。

#### 総務費

庁舎などの管理、企画調整、財政管理、市税の賦課徴収、戸籍住民基本台帳、選挙など市役所の全体的な事務にかかる経費です。

#### 諸支出金

他の支出科目に含まれない経費

#### 土木費

道路・河川・住宅・公園などの整備や、これらの施設の維持管理にかかる経費です。

#### 民生費

児童、高齢者、心身障害者などの社会福祉施設の管理運営や生活保護などにかかる経費です。

#### 予備費

緊急に支出を必要とする場合に備えて用意している経費です。

#### 消防費

火災、風水害、地震等の災害から市民を守るための経費です。

#### 衛生費

医療、公衆衛生費、ごみなどの一般廃棄物の収集運搬処理などにかかる経費です。

※市民1人あたりの金額は、平成25年度歳入予算額を平成25年4月1日現在の人口128,345人で割って算出しています。

#### 教育費

学校教育、社会教育などの教育行政(学校の建設・管理、生涯学習、文化財保護など)にかかる経費です。

#### 労働費

労働者の福祉向上や就労支援などにかかる経費です。

## 家計簿にたとえてみると…

家庭と市役所ではお金の使い道が違うので単純に比べられません、例えば戸田市の予算を年収480万円の家計(月収40万円)にたとえてみるとこうなります。

家庭の収支



戸田市の予算



### 収入(月)

給料	22万1,000円
パート収入	2万8,000円
預金の取り崩し	2万8,000円
その他臨時収入	9万8,000円
借金	2万1,000円
前月からの繰越	4,000円
合計	40万円

### 支出

食費	6万2,000円
医療費・保育料	10万9,000円
光熱水費や衣料に	7万6,000円
家の増築、修理、家財購入	4万6,000円
住宅ローン返済	1万9,000円
子どもへの仕送り	8万3,000円
貯金・貸付金	5,000円
合計	40万円

### 収入(年)

市税	261億7,564万円
使用料・手数料・諸収入など	33億375万円
基金繰入金	33億1,542万円
国・県支出金など	116億5,729万円
市債	24億8,790万円
繰越金	5億円
合計	474億4,000万円

### 支出

人件費	73億2,182万円
扶助費	129億4,007万円
物件費	90億312万円
投資的経費・維持補修費	54億5,967万円
公債費	22億8,580万円
繰出金・補助費など	98億2,405万円
積立金・貸付金	6億547万円
合計	474億4,000万円

支出では医療費や保育料、光熱水費や子どもへの仕送りなど、節約が難しい経費が多くの割合を占めています。

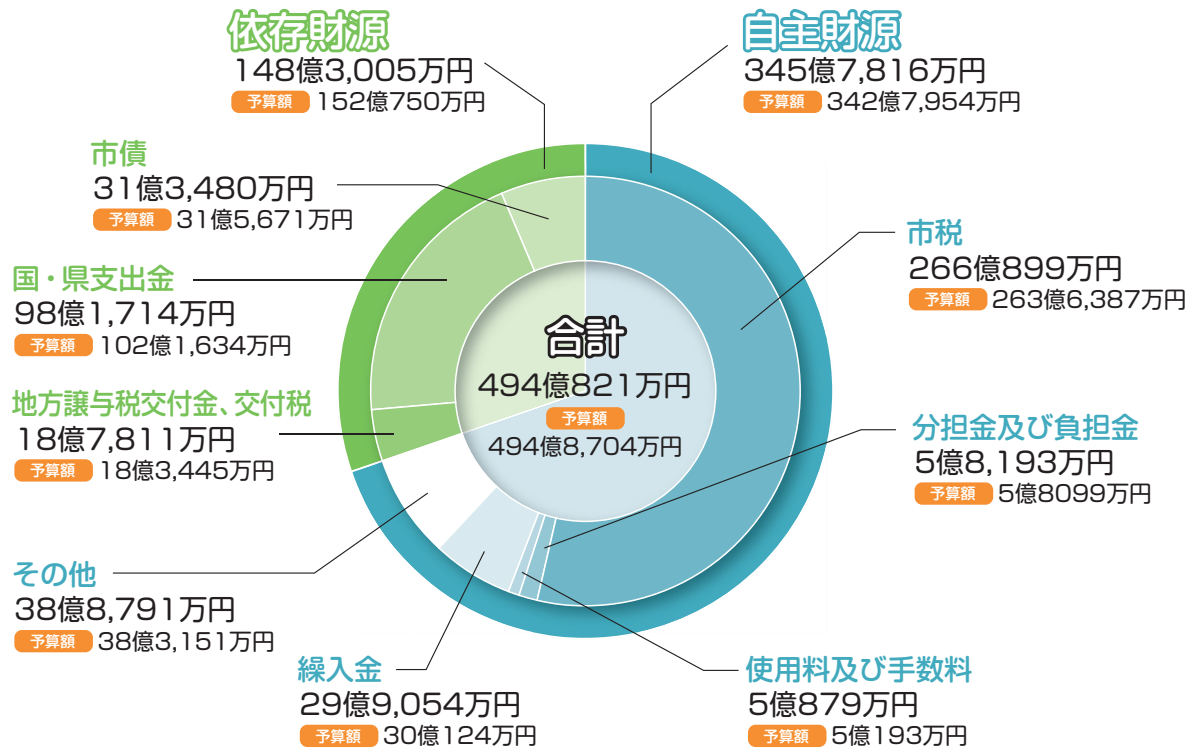


### ③ 決算をみてみよう ～平成24年度決算～

「予算」をちゃんと予定通り使ったか確認することが決算だったね。一番大きな一般会計のお財布で平成24年度の決算をチェックしてみよう。



#### ● 一般会計 平成24年度歳入決算



#### 依存財源

**市債**  
銀行などからの借り入れ(借金)です。

**国・県支出金**  
国・県から市が特定の事業を実施するための負担・補助として交付されます。

**地方譲与税、交付金、交付税**  
市民の皆様が国や県に納めた税金の一部です。使い道は自由です。

#### 自主財源

**繰入金**  
各種基金(貯金・運用金)を取り崩してお金を使います。

**その他**  
寄付金、不動産の売り払いなどの財産収入、諸収入、前年度からの繰越金です。

**市税**  
市民の皆様から戸田市に納めていただいた税金です。

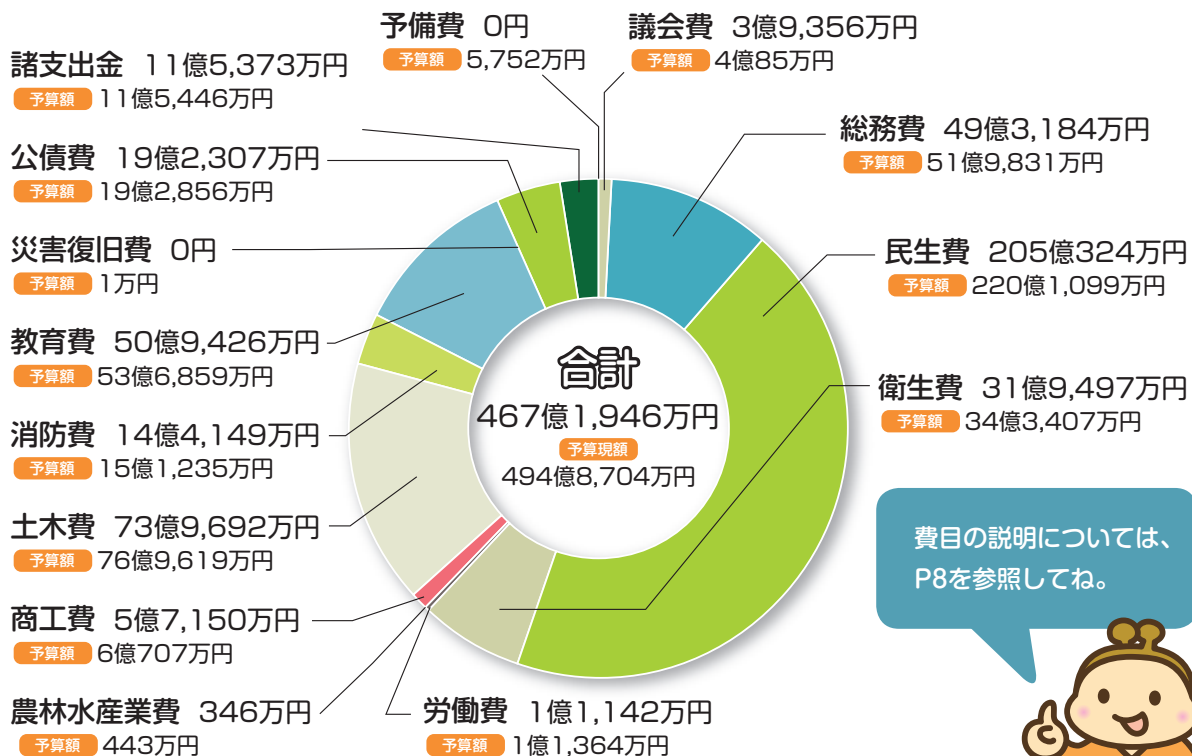
**分担金及び負担金**  
事業にかかる経費の一部を受益の程度に応じて利用者に負担していただいているお金です。

**使用料及び手数料**  
市の施設の利用や証明書を発行する際にいただいているお金です。

収入はほぼ予定通りですね。収入のうち、自主財源は約69%を占めます。自主財源の比率が高いほど、安定的だと言えます。今回は支出(お金の使い道)を確認してみましょう。



## ● 一般会計 平成24年度歳出決算



費目の説明については、P8を参照してね。



Pick Up!

## 東日本大震災の教訓から、戸田市では防災に力を入れています。

災害から市民を守るため、防災体制を強化し、安全で安心して暮らせる災害に強いまちの実現を目指しています。

平成26年から平成35年までの10年間、個人市民税均等割に加算される500円は、防災のための施策に要する費用の財源となります。

### 平成24年度実施の防災関係事業費

- 地域防災計画の改訂、放射能除染、耐震性防火貯水槽の設置
- 避難所備品購入
- 災害用井戸発電機整備、防災行政無線リース
- 消防施設用備蓄燃料保管庫設置
- 帰宅困難者対策用避難誘導標識設置

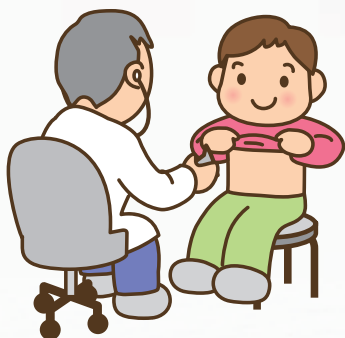


これらの事業費の一部を対象として国から特別交付税(震災分)が4,976万円交付されました。

## 平成24年度に行われた主な事業

### こども医療費支給事業の拡充

1億1,681万円



平成25年1月から中学3年生までの医療費（保険診療分のみ）の自己負担分を公費で負担するようになりました。



知らなかった！  
自己負担分は行政で払ってくれるんだ～！

僕たちが安心して医療にかかることができるのは、みんなに支えてもらっているおかげだね！



### 予防接種事業の拡充

3億8,812万円

ヒブワクチン、小児用肺炎球菌、高齢者肺炎球菌の予防接種助成額を拡大しました。  
なお、ヒブワクチンと小児用肺炎球菌については、平成25年4月1日から定期予防接種になり、全額公費で負担するようになりました。



#### 助成額の拡大

ヒブワクチン	4,000円 → 7,000円
小児用肺炎球菌	4,000円 → 8,000円
高齢者用肺炎球菌	4,000円 → 6,000円

※ヒブワクチンと小児用肺炎球菌は、現在は全額公費負担です。

### 消防車両整備事業

5,324万円

自動車NOx・PM法の排ガス規制の対象となる消防車両を、計画的に買い替えています。

※自動車NOx・PM法とは、首都圏等の大気汚染の厳しい大都市を「対策地域」として定め、対策地域においてNOx（窒素酸化物）とPM（粒子状物質）の排出基準に適合しない車両の所有、使用が制限される法律です。



水槽付消防ポンプ自動車  
(東部分署)

## 戸田公園駅西口駅前通り整備事業

5,398万円

戸田公園駅西口駅前通り2号線の電線を地中に埋める工事等を実施しています。平成24年度は、電線を収用する管路を地中に埋設しました。完成は平成25年度末を予定しています。



※写真は完成イメージ

すっきりするね！  
駅前がどんどん活性化  
するといいね！



## 汚水整備事業

3億2,309万円

戸田市の公共下水道（汚水）整備事業は、全体計画面積1,315ヘクタールであり、生活環境の改善、公衆衛生上の向上、公共用水域における水質の保全により市民生活の快適性を高めることを目的に事業の推進を図っています。現在は、新曽地区（208ヘクタール）の汚水整備を進めており、平成24年度の整備工事により全体の約87.5パーセントにあたる1,150.4ヘクタールの整備が終了しました。



## パスポート申請・交付事業 3,861万円

平成24年10月から戸田公園駅前行政センターで戸田市に住民登録がある人のパスポートの申請・交付ができるようになりました。

事業費のほとんどは、収入印紙売りさばき金や、県からの交付金でまかなわれています。



次のページでは平成24年度のお金の使い道を地図にしてみました！







# 戸田市の財政状況は健全なの？

平成24年度の決算を見てきましたが、果たして戸田市の財政状況は健全なのでしょう？ 地方公共団体の財政状況を客観的に表す「健全化判断比率」で確認してみましょう。

**健全化判断比率とは**  
地方公共団体の財政状況を客観的に表し、財政の早期健全化や再生の必要性を判断するためのものとして、以下の4つの財政指標を「健全化判断比率」として定めています。



### 実質赤字比率

**黒字** 早期健全化基準…12.03%

**健全段階**

一般会計等に生じている赤字の大きさを、財政規模に対する割合で表したものです。

戸田市は黒字のため、マイナス表示となります。

指標	値
早期健全化基準	12.03%
戸田市	-10.23%

### 連結実質赤字比率

**黒字** 早期健全化基準…17.03%

**健全段階**

水道などの公営企業も含め、全ての会計を合計した赤字の大きさを、財政規模に対する割合で表したものです。

戸田市は黒字のため、マイナス表示となります。

指標	値
早期健全化基準	17.03%
戸田市	-20.23%

### 実質公債費比率

**4.2%** 早期健全化基準…25%

**健全段階**

一般会計等の借入金の返済額の大きさを、財政規模に対する割合で表したものです。

指標	値
早期健全化基準	25%
戸田市	4.2%

### 将来負担比率

**41.7%** 早期健全化基準…350%

**健全段階**

市債や、数年間にわたる契約により約束された支払い、土地開発公社の債務保証など、将来支払わなければならない負債を、財政規模に対する割合で表したものです。

指標	値
早期健全化基準	350%
戸田市	41.7%

戸田市は4つの指標すべて「健全段階」です。ただし、将来負担比率は改善する余地があります。



## 将来負担比率を改善するには ～戸田市土地開発公社の経営健全化～

将来負担比率には土地開発公社の債務保証が影響を及ぼしています。この債務保証とは、土地開発公社が借金を返せなくなった場合に、市が代わりに借金を返すということです。

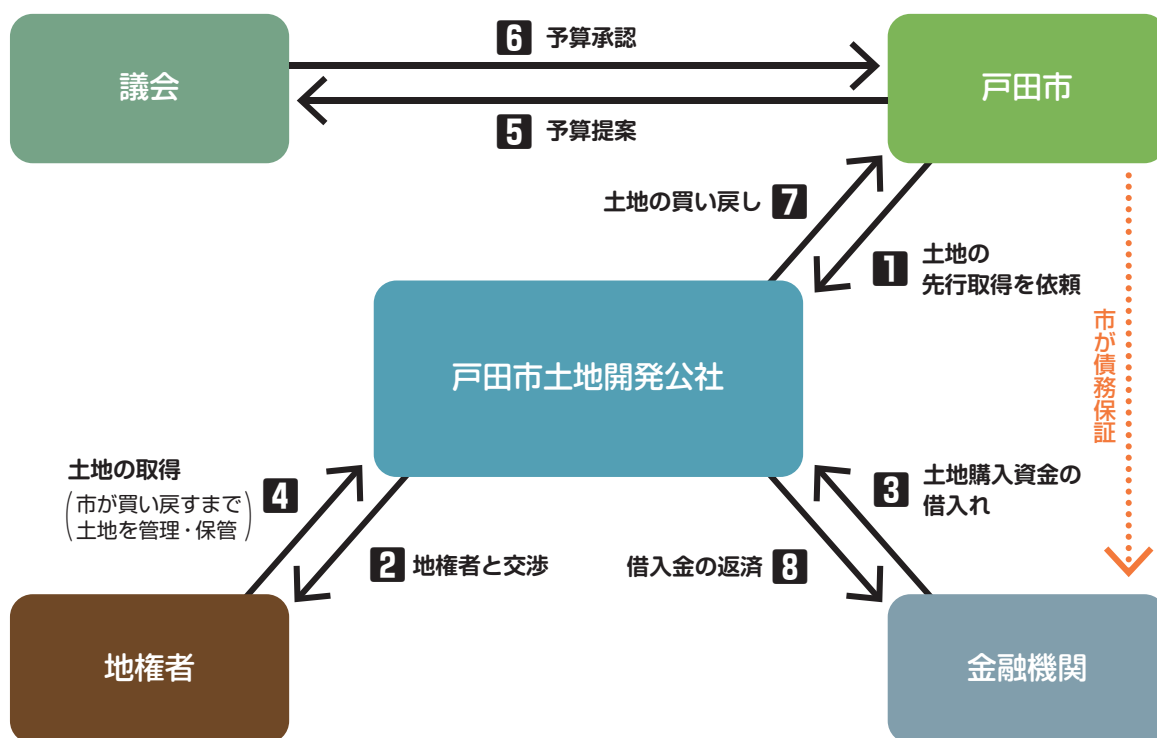
戸田市はこれまで、土地開発公社の債務（借金）の削減に努めてきました。ピーク時の平成6年度には400億円あった債務保証額を平成24年度末時点では71億円にまで削減しています。

そもそも

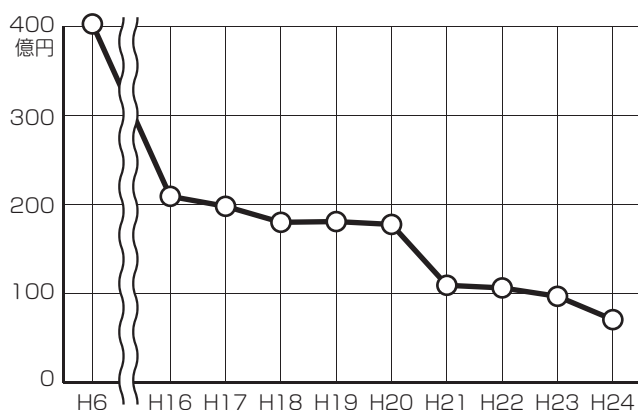
### 戸田市土地開発公社って？

戸田市土地開発公社とは、戸田市が設立した、土地を先行取得するための法人です。

市が土地を取得するには、予算の議決を経るなど時間がかかります。下の図のように、戸田市土地開発公社が先行して土地を取得し、あとから市が買い戻すことによって、事業を行うのに必要な時に土地を取得できます。



### ● 戸田市土地開発公社債務保証額の推移



もし戸田市土地開発公社がお金を返せなくなってしまったら、その借金を戸田市が肩代わりすることになります。だから戸田市の財政を健全に保つためには土地開発公社の債務（借金）を減らしていくことが重要です。



戸田市は、国から公社経営健全化団体に指定され、平成25年度から29年度の間は公社の一層の健全化をすすめていきます。

## 第2章 財政運営に欠かせないもの

### ① 戸田市の貯金はどうなっているの？

戸田市には貯金に相当する「基金」というものがあります。基金は、それぞれの基金条例に基づき設置され、基金の目的に応じて、必要な時におろして使います。基金があることによって、継続的に安定して事業を進めていく予算を確保することができます。

必要な時に貯金がないと苦労しますよね。いざという時のために、貯金があった方が安心です。家計と同じで、安定して事業を行うには、基金はとっても大事なんです。



#### Q 基金には、どのようなものがあるの？

A 戸田市は、財政調整基金、公共施設等整備基金をはじめ、14の基金をもって、平成24年度末の総額で、約89億円の残高があります。

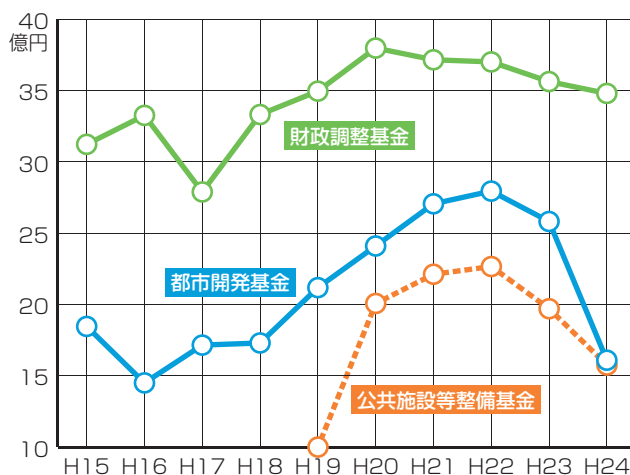
ただし、都市開発基金や公共施設等整備基金などは基金を取り崩して事業に充てているので、近年、残高が減少しています。基金が減ってしまうと、継続的に事業を進めていくことに影響します。適正な基金残高を保っていくことが今後の課題です。

#### Q 財政調整基金ってなに？

A 市ではいつもの年度と比べて収入が少なかったからといって行政サービスを急に低下させることはできません。このため、余裕なお金があれば基金として積み立て、災害などによりお金が必要なときは、基金を取り崩してまかないます。このようにして積み立てられてきたお金が財政調整基金です。

財政調整基金、都市開発基金と公共施設等整備基金の推移を見てみましょう。

#### ● 基金の残高の推移



都市開発基金の残高は平成24年度末では約16億円にまで下がっています。財政調整基金も平成20年度から減少傾向にあります。

災害が起きた時など、いざという時のために、基金の残高を一定水準以上に維持していくことが今後の課題です。



戸田市では、職員の給料と特別職の給料の削減が平成25年6月に行われた市議会で決定しました。削減したお金は、いざという時に備えて、財政調整基金に積み立てます。

## ② 戸田市の借金はどうなっているの？

市の借金のことを「市債」と言います。市債は、道路、公園、学校といった公共施設の整備に主に使われます。これら公共施設は、現在の市民だけでなく、将来の市民も利用することになります。現在の市民と、将来の市民の負担を公平にするため、毎年の支出を平準化するために、借金をしています。

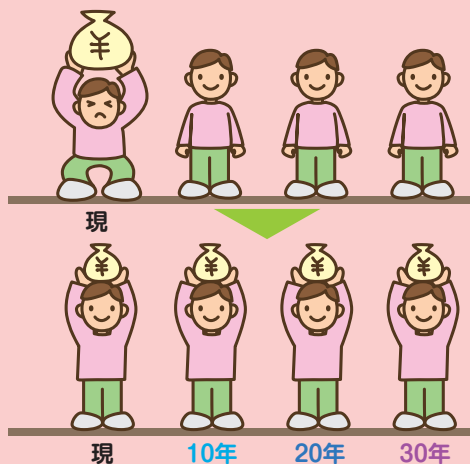
### Q どうして借金をするのか？

A

「現在の市民と、将来の市民の負担を公平にするため」と「毎年の支出を平準化するため」です。

公共施設は、現在の市民だけではなく、将来の市民も使っていくものです。そのため、施設をつくる年の市民が建設費用を全て負担すると、不公平になります。市債を分割払いすることで、将来の市民にも公平に費用を負担してもらうことができます。

また、公共施設の整備には多額の経費がかかるため、一度に支出してしまうと、その年の他の事業ができなくなってしまいます。市債を活用することで、通常の実業と並行して公共施設を整備することができます。

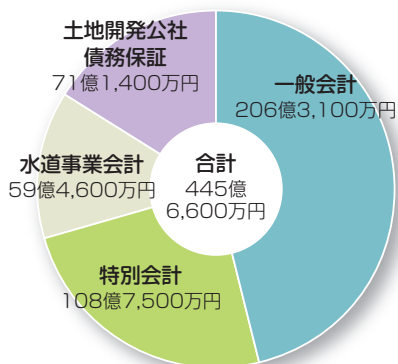


### Q 戸田市の借金はどれくらいあるの？

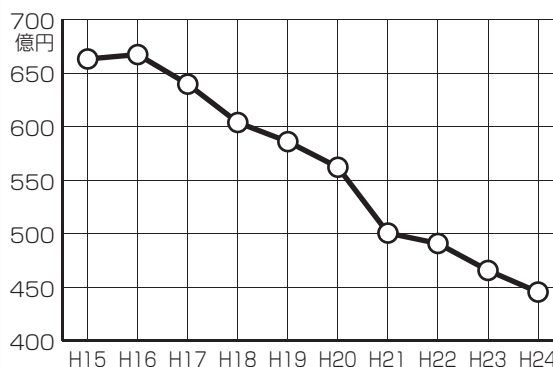
A

平成24年度末で、一般会計が約206億円、特別会計、公営企業、土地開発公社の債務保証を合わせた市全体の借金は約446億円です。

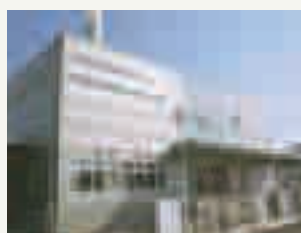
#### 平成24年度債務残高の内訳



#### 市全体の債務残高の推移



これらの公共施設は市債により整備されています。



学校給食センター



福祉保健センター



芦原小学校

### ③ 地方交付税について

日本では、全国どこに住んでいる人にも一定水準の行政サービスを提供できるよう、国から地方自治体に地方交付税というお金が配られます。これによって、税収の少ない自治体でも一定水準のサービスが受けられ、地域ごとの格差を軽減します。

#### Q 地方交付税ってなに？

A 全国のどこに住んでいる人にも一定水準の行政サービスを提供できるよう、国から地方自治体に配るお金のことです。税収は地域によってばらつきがあるので、自前の税収だけでは足りなくて、必要なサービスを提供できない自治体もあります。そこで法人税や消費税など国の収入の一定割合を配ることで、地域ごとの格差をなくすのです。

#### Q 国は地方交付税をいくら配っているの？

A 地方交付税には2種類あります。国の平成24年度予算は17兆4,545億円で、このうち94%が、自治体ごとの財政状況のほか、人口や面積などを基準にした普通交付税で、4、6、9、11月の年4回に分けて交付されます。残り6%は、災害で急にお金が必要になった場合などに自治体に配る特別交付税です。

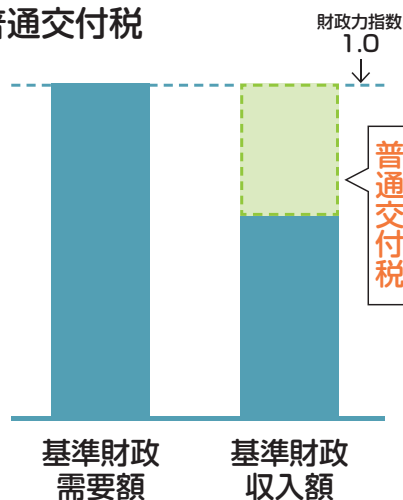
地方交付税が税収の少ない地域の財政を支えて、地域の格差を調整しているんだね。



戸田市では、下記の算定基準により普通交付税は交付されていませんが、特別交付税は8,643万6千円(平成24年度)交付されました。主に外国人の住民基本台帳システム経費の他に、災害対策のための備品の購入や発電機の更新等が東日本大震災分として交付されています。

#### 普通交付税

基準財政需要額（人口や面積などを基準にした各団体の標準的な財政需要のことが基準財政収入額（標準的な税収見込み額の一定割合のこと）を上回る地方公共団体に交付されます。  
基準財政需要額＝基準財政収入額のととき、\*財政力指数が1.0となります。



#### 特別交付税

災害など普通交付税の中では算定されない特別の需要について算定されます。

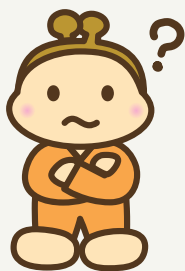


特別交付税の割合は段階的に引き下げられ、平成26年度は5%、平成27年度には4%になる予定です。その代わりに、普通交付税の割合が増やされます。

地方交付税の計算方法は交付税を配分するための制度であるため、基準財政需要額や基準財政収入額は実際の歳出、歳入ではありません。そのため、独自に実施している事業等の支出額がそのまま基準財政需要額に反映されたものではありません。また、競艇配分金も基準財政収入額には含まれません。



### ※財政力指数とは？



$$\text{財政力指数} = \frac{\text{基準財政収入額}}{\text{基準財政需要額}}$$

財政力指数とは、財政基盤の強さを示す指標です。標準的な行政活動を行う財源をどのくらい自力で調達できるかを示した指標で、財政力指数が1.0未満の地方自治体には、普通交付税が交付されます。

戸田市の平成25年度の財政力指数は1.172なので、普通交付税は交付されていません。

※埼玉県内市町村の財政力指数の平均は0.775です。

### Pick Up!

## 戸田市は普通交付税をもらっていません。

戸田市は税金などの基準財政収入額が人口や面積などから算出する基準財政需要額を上回っているため普通交付税が交付されません。

普通交付税が交付されない団体のことを不交付団体と呼びます。戸田市は昭和58年から31年連続で不交付団体です。

### そもそも

## 不交付団体っていいことなの？

不交付団体は税金が人口規模や面積から計算する標準的な団体より豊かということなのです。

ただ、不交付団体だと、事業にお金がかかっても、費用を措置してもらえないわけではないので、市で負担することになります。

子宮頸がん、ヒブ、小児用肺炎球菌ワクチン、妊婦健診などにかかる費用などが、平成25年度に国庫補助金（戸田市にも交付される）から普通交付税措置に変更されました。これらは普通交付税に含めて交付されますが、不交付団体では実際には事業費が発生していても、それらにかかる費用は交付されず、戸田市が負担することになります。





# いくらかかるのかな？ 戸田市の行政サービス

市が行っている行政サービスにはコストがかかっています。  
どのくらいコストがかかっているか見てみましょう。



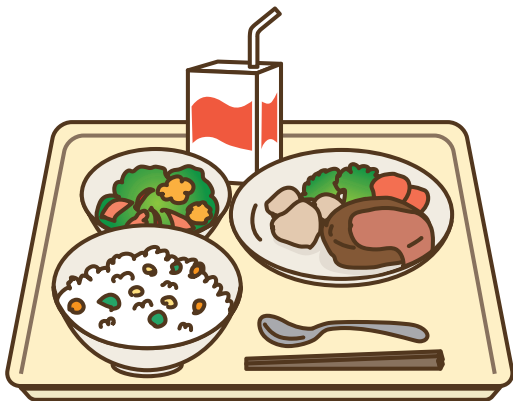
## トコ tocoバス

交通の利便性を向上させるために、戸田市にはコミュニティバス(通称tocoバス)が走っています。5つの路線(喜沢・川岸循環、西循環、南西循環、美笹循環)があり、料金は1回100円です。

年間利用数	298,847人
利用者負担	1回100円
収入	29,833,971円
支出(経費)	95,232,000円
市の負担	利用者1人あたり 319円

(事務事業評価より)

※tocoバスの運行は民間の運行事業者が代行しておこなっており、経費は運行事業者への補助金や停留所の修繕費などが含まれます。運行事業者の収支が補助金を交付することによりプラスマイナスゼロになる前提で計算しています。



## 学校給食費

市内の全小中学校に学校給食を提供しています。その費用のうち、4割近くは給食費収入でまかっています。

年間利用数	2,042,264食
利用者負担	小学校 1食226円 中学校 1食262円
収入	488,358,896円
支出(経費)	1,165,821,286円
市の負担	1食あたり 332円

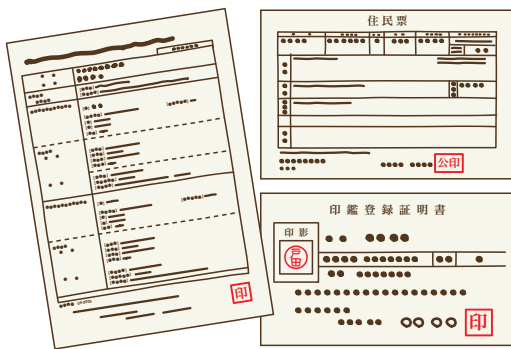
※支出(経費)には、食材だけでなく、施設の維持費や職員の人件費などが含まれます。



## 広報紙の発行

広報は、皆様に市の情報をお届けするために月2回発行されています。  
収入は広告掲載料です。

年間発行部数	978,000冊
利用者負担	無料
収入	480,000円
支出(経費)	48,444,943円
市の負担	1冊あたり 49円



## 住民票等 各種証明書の 発行

住民票等の発行には、人件費や用紙代、住民情報を管理するシステムなどの費用が発生します。  
戸田市は住民の異動が非常に多い自治体ですので、住民票等の証明書が必要な人が多数来庁されます。また、証明書発行手数料として、住民票や印鑑登録証明書なら1通200円、戸籍全部事項証明書は450円がかかります。

年間発行件数	135,892件
利用者負担	住民票 1通200円 戸籍全部事項証明書 1通450円
収入	32,473,800円
支出(経費)	252,200,325円
市の負担	1件あたり 1,617円



## 図書館の 貸し出し

図書館は多くの本を皆様が借りられるように建物の維持や図書の購入といった費用がかかっています。また、無料で貸し出しているため、利用者負担額はありません。収入は有料コピー機などによるものです。

年間貸出点数	768,815点
利用者負担	無料
収入	606,000円
支出(経費)	344,330,000円
市の負担	1件あたり 447円

(財務に関する年次報告書より)

※平成23年度決算より



これまで戸田市の予算、決算や財政運営に欠かせないものなどをご紹介してきましたが、第3章では、「戸田市のこれから」について考えてみましょう。

## ① 現在行われている事業をみてみよう

市では、平成23年度を初年度とする10か年のまちづくり指針、「戸田市第4次総合振興計画」を策定し、市民一人ひとりが戸田市に住むことの幸せを実感できるまちづくりを進めています。そこで、これからの主な事業について、ご紹介します。

### こどもの国

こどもの国は、昭和48年に開館し、スイカの形が目印で、プールやプラネタリウム室があり、地域になじみのある施設でした。しかし、施設・設備の老朽化もあり、平成24年12月24日をもって閉館しました。

そこで、平成27年度の開設を目指して、貴重な緑や自然豊かな環境を活かし、遊びを通じて、子どもたちの考える力や体力、感性、創造性等を育む場として、「児童館」、「保育園」、「学童保育室」及び「幼児・児童用プール」から成る複合施設の建設を進めています。



旧 こどもの国



完成イメージ

完成が待ち遠しいね！  
できたらプールで  
いっぱい遊びたいな



乳幼児から中高生まで利用できる  
複合施設になるんですよ。



### 上戸田福祉センター

昭和43年開設の上戸田福祉センターは、老朽化に伴う利用者の安全確保のため、耐震性や防災機能の向上を図る必要があります。

また、時代の変化や多様なニーズに対応した利便性の高い施設が求められています。そこで、子どもから高齢者まで多世代にわたって利用しやすく、幅広いニーズに対応した地域の交流拠点として、現在の上戸田ふれあい広場に再整備します。

現在の上戸田福祉センター



## 市民医療センター

昭和46年に建設された市民医療センターは、老朽化への対応や耐震性の改善のため、建て替えの必要性が生じています。また、平成7年に開設した介護老人保健施設は、施設の経年劣化とともに施設規模が小さいことから、経営効率を改善させるために増改築の必要性に迫られています。

当施設は、地域住民の生活の質を維持する上で非常に重要な施設であるため、平成28年度フルオープン(診療施設は、平成26年度中)を目指して取り組み、医療・介護・在宅支援の拠点となる施設整備を行います。

### 市民医療センターの現状と施設整備の必要性

- 施設、環境面では…**
- 廊下や待合室、病室が狭いことなどから、より快適な施設が求められています。
  - 急な階段、廊下のスロープなど、バリアフリーへの対応が必要です。
  - 新たな医療機器を導入するためのスペースの確保が困難な状況です。
  - 建築から40年近くが経過した建物は老朽化が進み、部分的な改修では対応が限界となっています。
- 安全性では…**
- 市民医療センターは災害時の重要な拠点施設となるため、地震災害時においても診療機能を維持する建物構造が必要です。
- 経済性では…**
- 建築時からの施設や設備は老朽化のため、今後多額の維持費が必要となることが予想されます。



現在の待合室



完成イメージ

#### スケジュール

- 平成24年度 医療センターの改築工事着工
- 平成25年度 新医療センターの竣工  
診療部門、入院部門の移転
- 平成26年度 旧医療センターの取り壊し  
// 介護老人保健施設増築棟  
工事着工
- 平成27年度 介護老人保健施設増築棟完成  
// 介護老人保健施設既存棟の  
改修工事着工・竣工
- 平成28年度 医療センター・介護老人保健  
施設のフルオープン

待合室も明るく、広く、利用しやすい  
施設に生まれ変わります。



完成イメージ

ラウンジや音楽室、軽体育室  
のほか、図書館分館などもあ  
り、多目的に活用できますよ。

集まりやすい、  
憩いの場になるね



## ② これから先もずっと安心かな？

戸田市の財政状況は、これからずっと先も安心と言えるのでしょうか。中期的な見通しや不安要素について考えてみましょう。



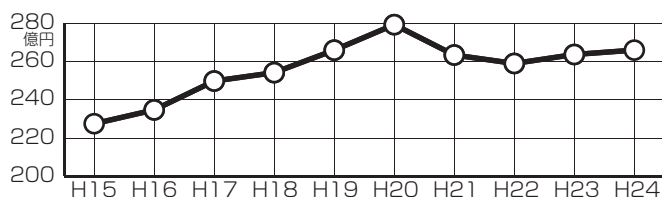
### これから心配なこと

景気の低迷により税金(市税)収入が増えない中で、扶助費が増加していることが市の財政を圧迫しています。また、公共施設を維持・更新するためのお金が不足することが見込まれており、公共施設に対する市民ニーズも変化していることから、それらのあり方について、市民の皆さんと考えていく必要があります。

### その1 市税

平成24年度における税金(市税)収入の決算額は約266億円ですが、長引く景気低迷などにより、税金(市税)収入は今後も大幅な増加が見込めません。

市税収入の推移



景気がなかなか回復しないことや、高齢化が進むと働く人口が減っていくことを考えると、市税が増えていくことはあまり期待できません。



### その2 扶助費の増加

#### Q 扶助費ってなに？

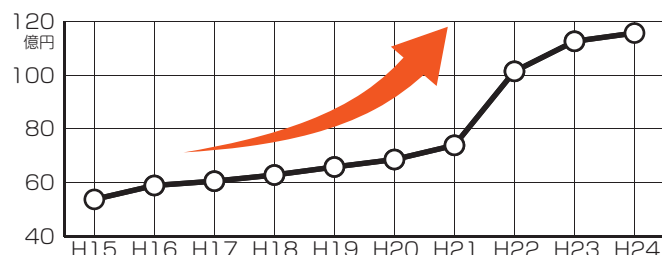
A

生活保護費や子ども医療費や保育園にかかるお金などのことで、社会保障制度の一環として児童、高齢者、障害者、生活困窮者などに対して行う支援に要する経費のことです。

近年、社会状況の変化、景気の低迷、国の制度改正などの影響を受けて、右肩上がりに増加しています。必要な経費ですが、予算に占める割合が高まると他分野の新たな事業の実施が難しくなるのです。

平成24年度決算における扶助費は約115億円、過去最高だった前年度に比べて約3億円増加し、10年連続で増加しています。社会福祉費・児童福祉費・生活保護費の増加が顕著に見られ、この10年間で比較すると、扶助費全体では約2倍の伸びとなっており、今後も増加することが見込まれています。

扶助費の推移

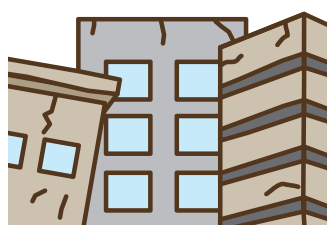


社会保障サービスが充実すると、それだけお金はかかるということなんです。税金(市税)収入が増えないのに、扶助費が増えているため、財政に余裕がなくなるのです。



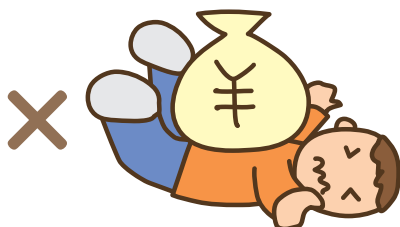
### その3 公共施設の老朽化

市内の多くの公共施設は昭和40年代から50年代に建設されており、公共施設の約6割が築30年を超え、老朽化が進んでいるため、各施設の維持管理にかかる費用は年々増加を続け、今後の財政運営の大きな負担になると考えられます。



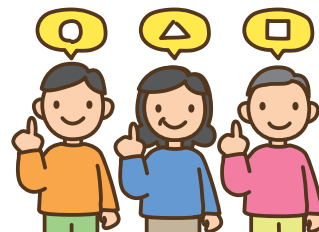
#### 公共施設の更新が集中

多くの公共施設が昭和40年代から50年代に建設され、次々に更新の時期を迎える。



#### 膨大な建設費用

すべてを同じ規模で新たに建て替える費用は、将来的に膨大な額になっていく。



#### 市民ニーズの多様化

人口構成やライフスタイルの変化などに伴い、公共施設の役割は変わっていく。



公共施設のあり方について、利用する市民の皆さんとともに考えていくことが必要

(例: 施設の長寿命化や建替え、転活用や売却、統廃合や再編成 など)

Q

公共施設を維持・管理するのにどれくらいお金がかかるの？

約3,000億円

A

戸田市公共施設アセットマネジメント白書によると、公共施設の維持管理・運営・更新に係る費用として、今後30年間で、約3,000億円、年間約100億円かかると試算しています。

100億



1年間 → 30年間

戸田市の家計の予算額約470億円を考えると、とても大きい額です。

建替や大規模な改修は安全・安心の面からも必要ですが、お金が不足することも想定されるので、今後の施設のあり方については、市民の皆様と考えなければなりません。



戸田市では施設情報の一元管理による維持管理のコスト分析、また、建物点検マニュアルの利用による施設の適正な維持管理により、施設の維持管理コストの削減を図ります。

また、施設維持全体に要する財政負担の平準化や、修繕・工事の優先度の順位付けをして、施設の長寿命化を図るため主要公共施設の「中長期保全計画」を策定します。

## 中期的な見通し

毎年、「中期財政計画」という今後5年間の将来計画(見通し)をたててホームページで公表しています。5年先までの状況を視野に入れ、現在のお金の使い道(予算)を計画しています。



戸田市の財政状況は、税収や競艇配分金の伸びは期待できない一方で、都市基盤や教育環境の整備、乳幼児から高齢者に至るまでの諸施策、公共施設の老朽化に伴う大規模修繕や建て替えなど、多額の財源確保が求められており、今後さらに厳しい財政運営を強いられる状況となっています。

そのような中、本市では平成23年度より第4次総合振興計画がスタートし、一層の飛躍と発展を目指した行政サービスの提供が求められています。これらを着実に推進し、的確かつ迅速にサービスを提供するためには、安定した財政力を背景とした健全な財政運営の堅持が不可欠です。

そのため、事業の見直しなどを行い、コスト削減に努めながら、よりよい市民サービスが行えるようにしていかなければなりません。

# おわりに

「なるほど!わかった!戸田市の財政」を最後まで読んでいただきありがとうございました。いかがだったでしょうか。

皆様に少しでも財政のことを身近に感じていただけたら幸いです。

市民の皆様からお預かりした税金をはじめとする貴重な財源を有効に活かし、幸せを実感できるまちの実現に向けて、よりよい事業を実施していきます。

戸田市財政課のホームページで中期財政計画や予算書を掲載しています。興味を持たれた方はぜひご覧ください。

アクセスは戸田市情報ポータル>各課のページ>財政課  
URL:<http://www.city.toda.saitama.jp/436/435539.html>

